

和歌山縣報

第九百三十九號

明治四十二年十二月二十七日

○縣令

○和歌山縣令第四十六號

和歌山縣度量衡器取締規則左ノ通相定ム

明治四十二年十二月二十七日

和歌山縣知事 川上親晴

和歌山縣度量衡器取締規則

第一條

本則ニ於テ營業者ト稱スルハ度量衡器ノ製作修復若ハ販賣ヲ業トスル者ヲ謂ヒ使用者ト

稱スルハ度量衡器ヲ取引若ハ證明ニ使用シ又ハ使用ニ供スル爲所持スル者ヲ謂フ

第二條

度量衡器ノ第一種取締ハ度量衡器取締官吏第二種取締ハ度量衡器取締官吏警察官吏及市

町村長ヲシテ之ヲ執行セシム

第三條

警察官吏又ハ市町村長取締ノ必要アリテ營業帳簿又ハ度量衡器ノ提出ヲ命シタルトキハ

營業者又ハ使用者ハ直ニ之ヲ提供スヘシ

第四條

左ノ各號ノ一ニ該當スル度量衡器ハ店舗工場其ノ他取引又ハ證明ヲ爲ス場所ニ置キ又ハ

行商ニ携帯スヘカラス

一、度量衡法第八條各號ノ一ニ該當スルモノ

二、分離シ得ヘキ構造ノ器物ニシテ符號番號等ノ一致セキルモノ

三、計量ニ差異ヲ生スヘキ附着物アルモノ

四、度量衡器ニ紛ハシキモノ

五、錘、増錘等ノ紛失若ハ象眼ノ脱出シタルモノ

六、桿秤ノ緒紐破損シタルモノ

第五條 度量衡法施行細則第四十八條第一項ニ依リ第一種取締執行ノ告示アリタルトハ取締ヲ受クヘキ使用者ハ其ノ所持スル度量衡器ノ全部ヲ指定ノ場所ニ提出スヘシ但シ左記各號ノ器物ハ提出ヲ要セス

一、土地又ハ建物ニ取附タルモノ

二、玻璃製ノモノ

三、陶器若ハ磁器製ノモノ

四、秤量五百貫以上ノ衡器

五、秤量ニ於テ其ノ一万分ノ一以下ノ重量ヲ感スル天秤

第六條 第一種取締ニ於テ合格シタル器物ニ對シ検査済印ヲ附スル局部ヲ定ムルニト左ノ如シ

竹 製 裏面ノ一端

金屬木骨製 全長表記ノ傍若ハ記號ノ附邊

卷尺 鐮尺 端金具又ハ全長表記ノ傍若ハ容器

量器

掛

斗 概

全量表記ノ面
切口ノ面

衡器

天秤

皿、皿受若ハ臺

分銅

容器若ハ其ノ器物ノ表面

台秤

桿ノ末端若ハ柱ノ前面

上皿桿秤

皿若ハ台

木製桿秤

桿ノ頭部若ハ皿

骨象牙製桿秤

皿、皿受若ハ容器

第七條 營業者ハ左記様式ノ木札ヲ戶外ニ掲クヘシ

何器製作(修覆)(販賣)所

住所 何 某

豎三尺五寸以上
幅一尺以上

衡器緒紐修覆所

住所 何 某

豎三尺五寸以上
幅一尺以上

第八條 營業者ハ其營業所ニ硝子戸棚ヲ備ヘ販賣器物ヲ陳列スヘシ但シ長大ナル器物ハ此ノ限ニ在ラス

第九條 營業者ハ檢査ノ爲其修覆用分銅ノ提出ヲ命セラレタルトキハ直ニ指定ノ場所ニ提出スヘシ

第十條 營業者其ノ製作原料ヲ仕入タルトキハ其ノ仕入先品目數量等ヲ詳記シ三日以内ニ知事ニ届出ヘシ

第十一條 營業者ハ其ノ營業ノ區別ニ從ヒ第一號様式ノ帳簿ヲ備ヘ常ニ之ヲ整理スヘシ

第十二條 營業者ハ第二號様式ニ依リ前年四月一日ヨリ其ノ年三月三十一日迄ノ營業統計表ヲ作成シ毎年四月十五日限リ知事ニ報告スヘシ

營業ヲ廢止シ又ハ營業免許ノ消滅シタルトキハ其期間中ニ於ケル營業統計ヲ前項ニ準シ作成シ免許狀返納ト同時ニ差出スヘシ

營業者死亡シ相續人其ノ營業ヲ承繼セサル場合ハ相續人直ニ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第十三條 營業者度量衡法施行細則第十六條ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ其ノ器物ノ種類物質個數仕入價格等ノ明細表ヲ添付シ事實發生後十日以内ニ認可ノ申請ヲナスヘシ

第十四條 度量衡法施行細則第二十一條第一項ノ届出ヲナストキハ其届書ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一、修覆所ノ位置

二、修覆開始ノ年月日

三、秤架及分銅ノ種類并ニ個數

前項營業ヲ廢止シタルトキハ直ニ知事ニ届出ヘシ

第十五條 第三條第四條ニ違反シタルモノハ貳拾圓未満ノ科料ニ處ス

第十六條 左ノ各號ノ一ニ該當セルモノハ拾圓未満ノ科料ニ處ス

一、第十條ノ届出ヲ虚シ又ハ虚偽ノ記載ヲナシタルモノ

二、第九條第十二條ニ違反シタルモノ

三、第十一條ノ帳簿ノ記載ヲ怠リ又ハ虚偽ノ記載ヲナシタルモノ

第十七條 度量衡ニ關スル出類又ハ届出ハ所轄郡市町村長ヲ經由スヘシ但シ檢定請求書營業統計

及價格表等ハ此ノ限ニ在ラス

附 則

本則ハ明治四十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年一月本縣令第二號度量衡器臨檢及取締規則ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第一號

度量衡器製作簿

年月日	種 別	番 號	個 數	成 價		檢 定	料 備	考
				合 格	不 合 格			

年月日

住所

度量衡器修覆者

氏

名印

知事宛

種別欄ニハ圓壺形樹、方形樹、木製桿秤、台秤等ノ區別ニ依リ記入スヘシ

○訓令

○和歌山縣訓令第三十八號

度量衡器取締規則施行手續左ノ通相定ム

但明治三十九年一月本縣訓令第二號度量衡器臨檢及取締規則施行手續ハ廢止ス

明治四十二年十二月二十七日

和歌山縣知事 川上親晴

度量衡器取締規則施行手續

第一條 警察署長全分署長及市町村長ハ常ニ其ノ部内ニ於ケル度量衡器ノ取締ヲ行フヘシ

第二條 警察署長同分署長ハ第一種取締執行後二十日以内ニ市町村長ハ毎年一回隨時其ノ部内ニ於ケル使用者ノ店舗工場其ノ他取引若ハ証明ヲ爲ス場所ニ就キ取締ヲ行ヒ第一號様式ニ依リ直ニ知事ニ報告スヘシ

警察署長全分署長隨時取締ヲ行ヒタルトキ亦全シ

第三條 警察署長全分署長度量衡ニ關スル違反者ヲ告發シ又ハ處分シタルトキハ第二號様式ニ依リ直ニ知事ニ報告スヘシ

第四條 市町村長ハ常ニ其ノ部内ニ於ケル使用者ニ對シ度量衡ニ關スル法令ノ趣旨ヲ諭告シ違反者ナカラシムルコトヲ努ムヘシ

第五條 市町村長ハ第三號様式ノ度量衡器使用者名簿ヲ備ヘ常ニ之ヲ整理スヘシ

第六條 第一種取締執行ノ告示アリタルトキハ所轄市町村長ハ左ノ各號ノ措置ヲナスヘシ

一、第四號様式ノ通告書ヲ作り其ノ甲號ハ市町村長之ヲ保管シ乙號ハ本人ニ交付シ丙號ノ請書ハ之ヲ取纏メ取締官吏ニ差出スヘシ

二、使用者到着ノ順序ニ依リ第五號様式ノ傳票ヲ調製シ取締官吏ニ差出スヘシ

三、検査執行上必要ナル諸般ノ設備ヲナシ支障ナキヲ期スヘシ

第七條 前條取締執行ノ際ハ警察署長同分署長ハ其ノ受持巡查ヲシテ検査ノ執行ヲ援助セシムヘシ

第八條 警察署長全分署長及市町村長ハ取締上必要アリト認ムルトキハ其ノ事由ヲ具シ取締官吏ノ出張ヲ知事ニ申請スルコトヲ得

第九條 市町村長ハ其ノ部内營業者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シタルトキハ直ニ其ノ事實ヲ詳記シ知事ニ報告スヘシ

一、禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

二、破産又ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタルトキ

第一號様式

度量衡器取締成績報告

取 締 日 數	取締ヲ行ヒタル市町村名	度 器 量 器 衡 器 合 計	告 發 シ タル ノ 行 政 處 分 ニ 付 レ タル モ ノ	同 上 第 二 號 ニ 該 當 ス ル モ ノ
	取締ヲ行ヒタル總戶數			
檢 閲 シ タル 總 數				

知事宛

警察署同分署長 官 氏 名 印
市町村長 氏 名 印

第二號様式

度量衡違反者處分報告

違反者ノ住所職業氏名年齢	違反ノ事實	犯則物件及個數	違反條項	檢舉年月日	檢舉者官職氏名	告發年月日

告 發 官 廳

處 罰 條 項

確 定 年 月 日

備 考

右及報告候也

年 月 日

知 事 宛

第三號様式

度量衡器使用者名簿

警察署全分署長

官 氏

印 名

度量衡區別

市町村名大字

業 務 別

氏

名

備

考

(注意)町名及大字別トスヘシ

業務別ハ其業務ノ主タルモノヲ記入スヘシ

第四號様式

甲第 號

通告書發送 月 日

職 業 住 所 氏 名

乙第 號

通 告 書

來 月 日何處ニ於テ度量衡器第一種取締執行相成候ニ付全日十二時迄ニ所持ノ度量衡器全部ヲ提出スヘシ若シ全日提出セサルトキハ度量衡法施行細則第五十五條ニ依リ處罰セラルヘシ

右通告ス
年 月 日

何市町村長 氏 名 印

山崎 第九三九號 明治四十二年五月二十七日

何市町村大字

何 某殿

附第

號

請書

月 日付度量衡器第一種取締ニ關シ御通告ノ趣承知致候也

年月日

何市町村長殿

何市町村大字

何 某 印

第五號様式

(半紙半切)

甲第		號度量衡器受檢傳票	
受檢番號	職業	村名大字	氏名
種別	調查合格數	不合格數	得修履一廢業

衡		器 量				器 度						
分 銅	天 秤	概	斗	製	木	金 屬 製	ヤ ー R 系	鯨 尺	卷 尺	疊 尺	曲 尺	直 尺
		板 狀	圓 壺 形	圓 壺 形	方 形							

器			
台秤	金屬製	木骨製	ホント系

○和歌山縣訓令第三十九號

公立學校學校醫進退手當職務等ニ關スル細則左ノ通相定ム

明治四十二年十二月二十七日

和歌山縣知事 川上 親 晴

郡 役 所
 市 役 所
 縣 立 學 校
 郡市町村立學校
 町村組合立學校
 町 村 役 場

學校醫進退手當職務等ニ關スル細則

第一條 學校醫ノ屬託及解屬ハ縣立學校ニ在リテハ學校校長其ノ他ノ公立學校ニ在リテハ管理者ヨ

リ之ヲ知事ニ内申スヘシ但シ嘱託ノ場合ニ於テハ左ノ書類ヲ添付スヘシ
一 履歷書

二 明治三十一年二月文部省令第七號ニヨリ學校醫タルヘキ資格ヲ證明スル書類ノ寫
第二條 學校醫ニ支給スヘキ手當ヲ分チテ年額手當及慰勞手當ノ二トス

年額手當ハ在職中之ヲ支給シ慰勞手當ハ特別ノ勤勞アル者ニ對シ隨時之ヲ支給ス
支給スヘキ手當金額ハ管理者ヨリ之ヲ知事ニ内申スヘシ

第三條 學校醫ニ支給スヘキ年額手當ノ標準左ノ如シ但シ同一町村内ノ學校醫ヲ兼務スル場合ハ
此ノ限ニ在ラス

一 郡市町村立學校、町村組合立學校

參拾圓以上

二 市町村立小學校、町村組合立小學校

貳拾圓以上

三 村立小學校

拾貳圓以上

特別ノ事情アルトキハ知事ノ認可ヲ經テ前項ノ標準ニ據ラサルコトヲ得

第四條 年額手當ハ之ヲ二分シ其ノ前半期分ハ九月ニ後半期分ハ三月ニ於テ之ヲ支給ス

第五條 年額手當ハ嘱託、増額、減額トモニ發令ノ翌日ヨリ解嘱ノ場合ハ辭令ノ當日迄各日割ヲ以
テ計算支給ス

第六條 日割計算ハ年額ヲ十二分シ之ヲ月額トシ其ノ月ノ現日數ニ依ル但シ計算上錢位未滿ノ端

數ヲ生シタルトキハ之ヲ切捨ツ

第七條 學校醫在職中死亡シタルトキハ其ノ期ニ於テ支給スヘキ手當ノ全額ヲ其ノ遺族ニ支給ス

前項遺族トハ官吏遺族扶助法ニ於テ遺族ト稱スル者ヲ謂フ

第八條 學校醫ノ旅費ハ縣立學校ニ在リテハ縣費支辨ノ委任官、其ノ他ノモノニ在リテハ管理者

ノ定ムル處ニヨリ縣費支辨ノ委任官又ハ判任官ノ例ニ依ル

第九條 學校醫ハ學校醫職務規程第二條ニヨル視察日ヲ定メ豫メ之ヲ學校長ニ通知スヘシ

第十條 學校醫職務規程第三條ノ視察簿ハ各學校ニ備置キ學校長ニ於テ學校醫臨視ノ際之ヲ差出

スヘシ

第十一條 學校醫視察ヲ終リタルトキハ視察シタル事項ノ要領及年月日ヲ視察簿ニ記入シ當該學

校長ト共ニ署名捺印スヘシ

第十二條 學校醫ハ學校醫職務規程ニ掲クル職務ヲ行フノ外向管理者又ハ學校長ノ要求アルトキ

ハ遲滞ナク學校ニ到リ學校衛生上必要ナル事項ノ指示又ハ處置ヲ爲スヘシ

第十三條 學校醫疾病其ノ他已ム得サル事故ノ爲其職務ヲ行フコト能ハサルトキハ其ノ旨學校長

ニ届出ツヘシ

第十四條 村立學校ニ於テ學校醫ヲ置キ難キ事情アルトキハ管理者ニ於テ其ノ事由ヲ具シ期限ヲ

定メテ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十五條 本令ニ依リ知事ニ提出スヘキ書類ハ町村若ハ町村學校組合ニ在リテハ當該管理者ヨリ

郡長ヲ經由スヘシ

附 則
明治三十一年三月和歌山縣訓令第六十一號ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際別ニ辭令ヲ用キサル者ハ現ニ受クル手當金額ヲ給與セラレタルモノトス

○ 告 示

○和歌山縣告示第四百十一號

度量衡法施行細則第四十八條ニ依リ海草郡各町村ニ於ケル度量衡器第一種取締執行ノ期日場所等左ノ通相定ム

明治四十二年十二月廿七日

和歌山縣知事 川上 親 晴

檢 査 日 時	檢 査 區 域	檢 査 ノ 場 所
四十三年(午前九時 一月十日、十一日(午后二時	加太町	加太町役場
十二日 全	西脇野村	西脇野村役場
十三日 全	木ノ本村	木ノ本村役場
十四日 全	野崎村及湊村一部	野崎村役場

十五日 全	植見村、有劭村、直川村	有劭村 役場
十六日 全	山口村、川永村	川永村 役場
十七日 全	和佐村	和佐村 役場
十八日 全	西和佐村	西和佐村 役場
十九日 全	東山東村	東山東村 役場
二十日 全	西山東村	西山東村 役場
二十一日 全	岡崎村	岡崎村 役場
二十二日 全	三田村	三田村 役場
二十三日 全	安原村	安原村 役場

二十四日	全	龜川村	龜川村役場
二十五日	全	巽村	巽村役場
二十六日	全	仁義村、加茂村	加茂村役場
二十七日	全	濱中村	濱中村役場
二十八日	全	根村	根村役場
二十九日	全	大崎村	大崎村役場
三十日	全	塩津村	塩津村役場
三十一日	全	内海村	内海村役場
二月一日	全	大野村	大野村役場

全二日三日 全	日方町	日方町 役場
全四日五日 全	黒江町	黒江町 役場
全六日七日 全	紀三井寺村	紀三井寺村 役場
全八日九日 全	和歌浦町	和歌浦 養泉寺
全十日 全	雜賀村、雜賀崎村、湊村一部	雜賀村 役場
全十一日 全	岡町村、宮前村	宮前村 役場
全十二日 全	宮村、鳴神村	宮前村大字手平地藏寺
全十三日 全	中ノ島村、四ヶ郷村	中ノ島村 役場

○和歌山縣告示第四百四十二號

左記ノ者ニ對シ無試驗檢定ニ依リ頭書ノ小學校教員免許狀ヲ授與シタリ

明治四十二年十二月二十七日

和歌山縣知事 川上親晴

小學校本科正教員

記

和歌山縣士族 間宮 陳夫

明治十九年六月二十四日生

○和歌山縣告示第四百十三號

明治四十二年二月本縣告示第四十九號第十回關西府縣聯合共進會規則中左ノ通改正セリ

明治四十二年十二月廿七日

和歌山縣知事 川上親晴

一、第二十八條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ審査長ニ於テ必要ト認ムル品種ニ付テハ其ノ審査期日ヲ繰上タルコトヲ得

○和歌山縣告示第四百十四號

北海道國有未開地ニシテ賣拂又ハ貸付スヘキ箇所ヲ左記ノ通設定シタル旨同廳長官ヨリ通知アリ

明治四十二年十二月二十七日

和歌山縣知事 川上親晴

北海道廳告示第五百七十七號

北海道國有未開地處分法第二條第四條第五條ニ依リ賣拂貸付スヘキ土地左ノ如シ

圖面ハ北海道廳及所轄支廳ニ備置ク

明治四十二年十一月二十六日

賣拂又ハ貸付地

北海道廳長官 河島醇

上川支廳管内(區畫外)

地名	概算地積	樹木有無
國郡		
石狩郡		
上川	四、九七九	樹木有無
美瑛	三〇〇、四五〇	雜樹疎林
空知		
上富良野		
函館支廳管内		
渡島		
上磯	二六、〇三九	無本
知内	二六、一二六	雜樹疎林
松前	二六、〇一四	同
吉岡		
青岡		
禮髭		
増毛支廳管内		
天鹽		
増毛	一五、〇〇〇	無木
増毛		
岩尾		
ケマフール		
赤岩		
岩生間	四〇、六二五	同
步古丹		
日方泊	三〇、〇〇〇	同

十勝	天盤	國	同	同	同	同	同	同	同	同	日高	同	同	同
河東	河西支廳管内	郡	同	同	同	同	同	同	同	同	靜内	浦河支廳管内	留萌	留萌
音更	音更	町村	同	同	同	同	同	同	同	同	静内	羽幌	鬼鹿	留萌
		大字	有良	富仁家	邊訪	同	歌笛	姉茶	野深	同	碧葉		鬼鹿	禮受
中士幌	苦前	區畫地名	ホンウセナイ	ウエンヤブ	シヤマンベ	同	ルベシメ甲	オサルンナイ	野深	チカブウンナイ	ペンケウコツナイ	羽幌	オンチナイ	オンチ
六七、五〇〇五	五、〇〇〇〇	概算地積	一五、一三四	七、一〇〇	二元、九四〇	九五、三〇元	一八、二八三元	九二、〇〇七	五八、五、五四一	一三、一五二	七二、八五〇〇	九、五、〇〇六	五、九、〇九	五、三、四二六
雜樹疎林	無木	樹木有無	同	無木	同	同	同	同	同	同	雜樹疎林	同	同	同

同 河西 芽室 羽帶 上芽室 11,000

北見 常呂 野付牛 野付牛 罌粟 雜木

天塩 上川 土名寄 名寄太 1,915,501.4 雜樹疎林

北海道廳告示第五百九十三號

左記ノ箇所ハ官林ヲ解除シ北海道國有未開地處分法第二條第四條第五條ニ依ル賣拂貸付地ニ編入

編入前賣拂ヲ出願ナ爲シタル者ハ北海道國有未開地處分法ニ依リ更ニ出願スヘシ

圖面ハ北海道廳及所轄支廳ニ備置ス

明治四十二年十二月四日

北海道廳長官 河 島 醇

賣拂又ハ貸付地

函館支廳管内(區畫勢)

國 郡 町村 大字

廳振 出越 八雲 地名 概算地積 樹木有無

同 同 長萬部 右岸 15,051.0

渡島 松前 福島 白符 マナイ川白符川間 5,671.83

岩内支廳管内

後志

岩内 小澤

ペンケヤマツケ
龍五郎川

一七、〇〇〇

同

同 同

ヤイモレ左岸

三五、二六〇

宗谷支廳管内

北見

枝幸 枝幸

幌別

カヤニウシ
ムクタウシ

三、三二〇

室蘭支廳管内

膽振

幌別 幌別

幌別村界治

一六三、八五二

函館支廳管内(區畫地)

國

郡 町村

大字

區畫地名

概算地積

樹木有無

膽振

山越 長万部

紋別

一四、〇〇〇

○正 誤

明治四十二年十一月十八日北海道廳告示第五百七十二號貸拂又ハ貸付地中「北見國紋別郡湧別村イクタ
ヲ川沿四十三號四十九號間「天、ハ(七)」ノ三十一字ヲ削除ス
○和歌山縣告示第四百十五號

有田郡湯淺町大字湯淺七一七番地

開業産婆

深見せき

右ノ者今般死亡ノ旨ヲ以テ取消願出ニ依リ本日
和歌山縣產婆名簿ノ登錄ヲ取消ス
明治四十二年十二月廿七日

和歌山縣知事 川上親晴

○和歌山縣告示第四百十六號

左記ノ者頭書ノ番號ヲ以テ本日和歌山縣產婆名簿ニ登錄ス

明治四十二年十二月廿七日

和歌山縣知事 川上親晴

西牟婁郡三舞村大字田野井四七〇番地

和歌山縣平民

第七〇七號

榎本五みへ

明治十六年九月生

○和歌山縣告示第四百十七號

左記ノ者本縣蠶病豫防吏員ヲ免セ

明治四十二年十二月廿七日

和歌山縣知事 川上親晴

記

中谷作之助

渡邊孫右衛門

○ 辞 令

○明治四十二年十二月二十三日

内務部第五課勤務ヲ命ス

給七級俸當分月俸
四十三圓

月俸貳拾六圓給與

和歌山縣立農林學校助手ヲ命ス

堀本正雄
日根春七
濱田泰藏
柴田忠雄
森田七次郎
下垣内久藏
中前正一
梅谷光太郎
富屋宇之助
北田茂左衛門
山本豊壽郎

技師
農林學校教諭
同助教諭心得

高井二郎
辻 助次郎
中 清 一
田 淵 重 一

月俸拾五圓給與

○明治四十二年十二月二十五日

給三級俸

依願免本官

五級下俸給與

願ニ依リ職務ヲ免ス

依願免本官

願ニ依リ職務ヲ免ス

屬 山東 一

土木工師 山東 一

技手 千原 三

農業技手 千原 三

○町村吏員ノ異動

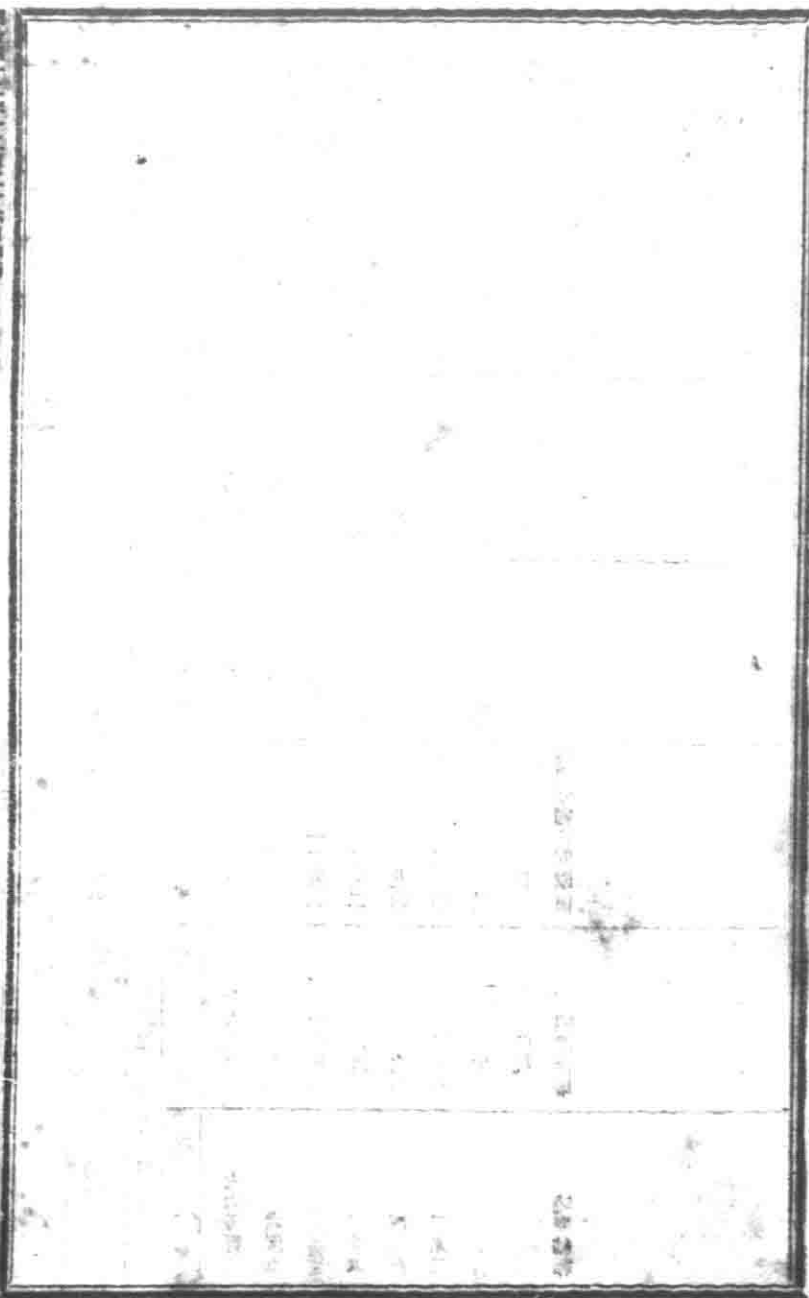
○明治四十二年十二月二十五日認可

伊都郡應其村助役 吉川 包 九

○ 觀 象

自十二月廿二日至十二月廿四日氣象 (和歌山測候所觀測)

種 目	十二月廿二日		十二月廿三日		十二月廿四日	
	前 年	本 年	前 年	本 年	前 年	本 年
平均氣壓	七五八耗九	七六五耗〇	七五八耗四	七六四耗五	七六五耗四	七六五耗二
平均氣溫	一〇度六	七度三	八度八	五度六	六度四	六度五
最高氣溫	一七度九	一一度六	一四度七	一二度六	一〇度九	一〇度五
最低氣溫	一度九	二度二	五度八	〇度二	二度〇	二度六
最多風向	南	北々四	北四	北四	北四	西北四
平均風力	七米九	二米九	六米三	三米〇	二米八	三米三
天氣	雨又曇	晴	曇	曇	半晴	晴
降水量	九耗一		一〇耗〇	〇耗〇	〇耗三	
記事現象	時々降雨午后三時 日南方ノ強風吹 夕夜間北東ニ電光		夜間降雨	曉間結霜夜間微雨	曉間微雨	曉間結霜



明治四十二年十二月二十六日印刷
 明治四十二年十二月二十七日發行
 (從月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日發行)

柳歌山縣知事官廳

柳歌山縣北條町六番地
 印刷所 柳歌山縣北條町六番地
 七

(明治三十三年五月八日第三種郵便物認可)

明治四十二年十二月廿七日

縣報第九百二十九號附錄

度量衡器取締規則
度量衡器取締規則施行手續

○和歌山縣令第四十六號

和歌山縣度量衡器取締規則左ノ通相定ム

明治四十二年十二月二十七日

和歌山縣知事 川上親晴

和歌山縣度量衡器取締規則

第一條 本則ニ於テ營業者ト稱スルハ度量衡器ノ製作修覆若ハ販賣ヲ業トスル者ヲ謂ヒ使用者ト稱スルハ度量衡器ヲ取引者ハ證明ニ使用シ又ハ使用ニ供スル爲所持スル者ヲ謂フ

第二條 度量衡器ノ第一種取締ハ度量衡器取締官吏第二種取締ハ度量衡器取締官吏警察官吏及市町村長ヲシテ之ヲ執行セシム

第三條 警察官吏又ハ市町村長取締ノ必要アリテ營業帳簿又ハ度量衡器ノ提出ヲ命シタルトキハ營業者又ハ使用者ハ直ニ之ヲ提供スヘシ

第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル度量衡器ハ店舗工場其ノ他取引又ハ證明ヲ爲ス場所ニ置キ又ハ行商ニ携帶スヘカラス

一、度量衡法第八條各號ノ一ニ該當スルモノ

二、分離シ得ヘキ構造ノ器物ニシテ符號番號等ノ一致セサルモノ

三、計量ニ差異ヲ生スヘキ附着物アルモノ

四、度量衡器ニ紛ハレキモノ

五、鐘、増鍾等ノ紛失若ハ象眼ノ脱出シタルモノ

六、桿秤ノ緒紐破損シタルモノ

第五條 度量衡法施行細則第四十八條第一項ニ依リ第一種取締執行ノ告示アリタルトハ取締ヲ受クヘキ使用者ハ其ノ所持スル度量衡器ノ全部ヲ指定ノ場所ニ提出スヘシ但シ左記各號ノ器物ハ提出ヲ要セス

一、土地又ハ建物ニ取附タルモノ

二、玻璃製ノモノ

三、陶器若ハ磁器製ノモノ

四、秤量五百貫以上ノ衡器

五、秤量ニ於テ其ノ一万分ノ一以下ノ重量ヲ感スル天秤

第六條 第一種取締ニ於テ合格シタル器物ニ對シ検査済印ヲ附スル局部ヲ定ムルコト左ノ如シ

度 器

竹 製 裏面ノ一端

金屬木骨製 全長表記ノ傍若ハ記號ノ附近

卷尺 鍍尺 端金具又ハ全長表記ノ傍若ハ容器

量 器

秤 全量表記ノ面

斗 概 切口ノ面

衡 器

天 秤 皿、皿受若ハ臺

分 銅 容器若ハ其ノ器物ノ表面

台 秤 桿ノ末端若ハ柱ノ前面

上皿桿秤 皿若ハ台

木製桿秤 桿ノ頸部若ハ皿

骨象牙製桿秤 皿、皿受若ハ容器

第七條 營業者ハ左記標式ノ木札ヲ戸外ニ掲クヘシ

何器製作(修覆)(販賣)所

住所 何 某

竪三尺五寸以上

幅一尺以上

衡器緒紐修覆所

住所 何 某

竪三尺五寸以上

幅一尺以上

第八條 營業者ハ其營業所ニ硝子戸棚ヲ備ヘ販賣器物ヲ陳列スヘシ但シ長大ナル器物ハ此ノ限ニ

在ラス

第九條 營業者ハ檢査ノ爲其修覆用分銅ノ提出ヲ命セラレタルトキハ直ニ指定ノ場所ニ提出スヘ

第十條 營業者其ノ製作原料ヲ仕入タルトキハ其ノ仕入先品目數量等ヲ詳記シ三日以内ニ知事ニ届出ヘシ

第十一條 營業者ハ其ノ營業ノ區別ニ從ヒ第一號様式ノ帳簿ヲ備ヘ常ニ之ヲ整理スヘシ

第十二條 營業者ハ第二號様式ニ依リ前年四月一日ヨリ其ノ年三月三十一日迄ノ營業統計表ヲ作成シ毎年四月十五日限り知事ニ報告スヘシ

營業ヲ廢止シ又ハ營業免許ノ消滅シタルトキハ其期間中ニ於ケル營業統計ヲ前項ニ準シ作成シ免許狀返納ト同時ニ差出スヘシ

營業者死亡シ相續人其ノ營業ヲ承繼セサル場合ハ相續人直ニ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第十三條 營業者度量衡法施行細則第十六條ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ其ノ器物ノ種類物質個數仕入價格等ノ明細表ヲ添付シ事實發生後十日以内ニ認可ノ申請ヲナスヘシ

第十四條 度量衡法施行細則第二十一條第一項ノ届出ヲナストキハ其届書ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一、修覆所ノ位置

二、修覆開始ノ年月日

三、秤架及分銅ノ種類并ニ個數

前項營業ヲ廢止シタルトキハ直ニ知事ニ届出ヘシ

第十五條 第三條第四條ニ違反シタルモノハ貳拾圓未滿ノ科料ニ處ス

第十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ拾圓未滿ノ科料ニ處ス

一、第十七條ノ届出ヲ怠リ又ハ虚偽ノ記載ヲナシタルモノ

二、第九條第十二條ニ違反シタルモノ

三、第十一條ノ帳簿ノ記載ヲ怠リ又ハ虚偽ノ記載ヲナシタルモノ

第十七條 度量衡ニ關スル出願又ハ届出ハ所轄郡市町村長ヲ經由スヘシ但シ檢定請求書營業統計及價格表等ハ此ノ限ニ在ラス

附 則

本則ハ明治四十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年一月本縣令第二號度量衡器臨檢及取締規則ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第一號

度量衡器製作簿

年月日	種 別	番 號	個 數	成 價		檢 定	料 備	考
				合 格	不 合 格			

一、度量器衡器ハ別冊又ハ別口トスヘシ
 一、種別欄ニハ直尺二尺鯨尺一尺方形一升圓樽形一斗木桿台秤五十貫ト記入スヘシ
 一、計及累計ハ必ス朱書スヘシ
 月計及累計ノ種別ハ全長容量秤量ニ關セス直尺鯨尺方形樽、圓樽形樽、木製桿秤、台秤等ノ區別ニ依リ計算スヘシ
 一、輸入(移入)販賣ノ場合ハ製作簿ニ準シ作成スルヲ要ス

度量衡器修履簿

受托年月日	種別	地名	番號	修履ノ要点	修履料	依托者住所氏名

一、種別欄ハ製作簿ノ例ニ據ルヘシ
 二、月計及累計ハ製作簿ニ準ス以下之ニ做フ

度量衡器御賣簿

一、自己ノ製作ニ係ルモノハ記號ノ記入ヲ要セス

年月日	種別	個數	價格	地方名 記號	買受人住所氏名	備考

度量衡器仕入簿

度量衡器販賣簿

度量衡器仕入簿					度量衡器販賣簿						
年月日	種	別	個	數	仕入價格	地方	記	地方	號名	仕入先住所氏名	備考

種別欄ニハ直尺鯨尺曲尺方柵圓柵桿秤台秤等ノ區別ニ依リ記入スヘシ
 度量衡器販賣營業報告
 自明治 年四月一日
 至全 年三月三十一日

種別	合計		祖金
	個數	額金	
持越			
仕入			
縣外ヨリ			
縣内ヨリ			
合計			
販賣			
高殘			
高			

+

府	縣府		種別	度	器	量	器	衡	器	計	備考	合計						
	數個	額金										數個	額金	額金	數個	額金		

仕入器物府縣別内譯表

知事宛
年月日

住 所
度量衡器販賣者 氏 名 印

右之通ニ候也

本標ニハ三器毎ニ其主
ナル種類ヲ記入スヘシ
尺圓樹台秤等ノ如シ

合 計	縣	
	額金	個數

種別欄ノ記入方ハ製作營業報告ニ準ズ

度量衡器修覆營業報告

自
年 月 日
至
年 月 日

種 別	修 覆 別	個 數	修 覆 料 金				

右之通候也

年月日

住所

知事宛

度量衡器修覆者

氏

名印

種別欄ニハ圓塲形樹、方形樹、木製桿秤、台秤等ノ區別ニ依リ記入スヘシ

○和歌山縣訓令第三十八號

度量衡器取締規則施行手續左ノ通相定ム

但明治三十九年一月本縣訓令第二號度量衡器臨檢及取締規則施行手續ハ廢止ス

明治四十二年十二月二十七日

郡	警	警	市	町
役所	察署	察分署	役所	村役場

和歌山縣知事 川上親晴

度量衡器取締規則施行手續

第一條 警察署長全分署長及市町村長ハ常ニ其ノ部内ニ於ケル度量衡器ノ取締ヲ行フヘシ

第二條 警察署長同分署長ハ第一種取締施行後二十日以内ニ市町村長ハ毎年一回隨時其ノ部内ニ於ケル使用者ノ店舗工場其ノ他取引者ハ証明ヲ爲ス場所ニ就キ取締ヲ行ヒ第一號様式ニ依リ直ニ知事ニ報告スヘシ

警察署長全分署長隨時取締ヲ行ヒタルトキ亦全シ

第三條 警察署長全分署長度量衡ニ關スル違反者ヲ告發シ又ハ處分シタルトキハ第二號様式ニ依リ直ニ知事ニ報告スヘシ

第四條 市町村長ハ常ニ其ノ部内ニ於ケル使用者ニ對シ度量衡ニ關スル法令ノ趣旨ヲ諭告シ違反者ナカラシムルヲ努ムヘシ

第五條 市町村長ハ第三號様式ノ度量衡器使用者名簿ヲ備ヘ常ニ之ヲ整理スヘシ

第六條 第一種取締執行ノ告示アリタルトキハ所轄市町村長ハ左ノ各號ノ措置ヲナスヘシ

一、第四號様式ノ通告書ヲ作り其ノ甲號ハ市町村長之ヲ保管シ乙號ハ本人ニ交付シ丙號ノ請書ハ之ヲ取纏メ取締官吏ニ差出スヘシ

二、使用者到着ノ順序ニ依リ第五號様式ノ傳票ヲ調製シ取締官吏ニ差出スヘシ

三、検査執行上必要ナル諸般ノ設備ヲナシ支障ナキヲ期スヘシ

第七條 前條取締執行ノ際ハ警察署長同分署長ハ其ノ受持巡查ヲシテ検査ノ執行ヲ援助セシムヘシ

第八條 警察署長全分署長及市町村長ハ取締上必要アリト認ムルトキハ其ノ事由ヲ具シ取締官吏ノ出張ヲ知事ニ申請スルコトヲ得

第九條 市町村長ハ其ノ部内營業者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シタルトキハ直ニ其ノ事實ヲ詳記シ知事ニ報告スヘシ

- 一、禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ
- 二、破産又ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタルトキ

第一號様式

度量衡器取締成績報告

取 締 日 數	取締ヲ行ヒタル市町村名		度 器	量 器	衡 器	合 計
	取締ヲ行ヒタル總戸數 第一種取締ヲ受ケサル戸數					
檢 閲 シ タル 總 數						
度量衡法第十三條第一號ニ該當スルモノ 告發シタルモノ 行政處分ニ付レタルモノ						
同上第二號ニ該當スルモノ						
全	全					

度量衡法施行細則第五十四條ニ該當スルモノ

同上第五十五條第一號第二號ニ該當スルモノ

同上第三號ニ該當スルモノ

取締規則第十九條ニ該當スルモノ

同則第二十一條ニ該當スルモノ

備考 本欄ニハ取締ノ概要其他參考トナルヘキ事項ヲ記スヘシ

年月日

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

知事 宛

第二號様式

度量衡違反者處分報告

警察署同分署長 官 氏 名 印
市町村長 氏 名 印

違反者ノ住所職業氏名年 齡	違反ノ事 實	犯則物件及個 數	違 犯 條 項	檢 舉 年 月 日	檢 舉 者 官 職 氏 名	告 發 年 月 日

告發官廳	處罰條項	雜定年月日	備考	<p>右及報告候也</p> <p>年月日</p> <p>知事宛</p> <p>第三號様式</p> <p>度量衡器使用者名簿</p> <p>警察署全分署長 官 氏 印名</p>	度量衡區別	市町村名大字	業務別	氏名	備考

(注意)町名及大字別トスヘシ

業務別ハ其業務ノ主ナルモノヲ記入スヘシ

第四號様式

甲第 號

通告書發送 月 日

職 業 住 所 氏 名

乙第 號

通 告 書

來 月 日何處ニ於テ度量衡器第一種取締執行構成箇ニ付全日十二時迄ニ所持ノ度量衡器全部ヲ提出スヘシ若シ全日提出セサルトキハ度量衡器施行細則第五十五條ニ依リ處罰セラレヘシ

年 月 日

何市町村長 氏 名 印

何市町村大字

何 某殿

丙第

號

請 書

月 日付度量衡器第一種取締ニ關シ御通告ノ趣承知致候也

年 月 日

何市町村長殿

何市町村大字

何

某

印

第五號様式

(半紙半切)

甲第

號度量衡器受檢傳票

受檢番號

職業村名大字

氏

名

種 別

個調
數查

個合
數格

得修
覆一

合
格
廠
業

衡		器 量					器 度					
分	天	概	斗	製	木	金	ヤ 一 フ 系	鯨	卷	疊	曲	直
		板 狀	圓 筒 形	圓 筒 形	方 形							
銅	秤											

器

ホ ソ ト 系	木 骨 製	金 屬 製	台 秤